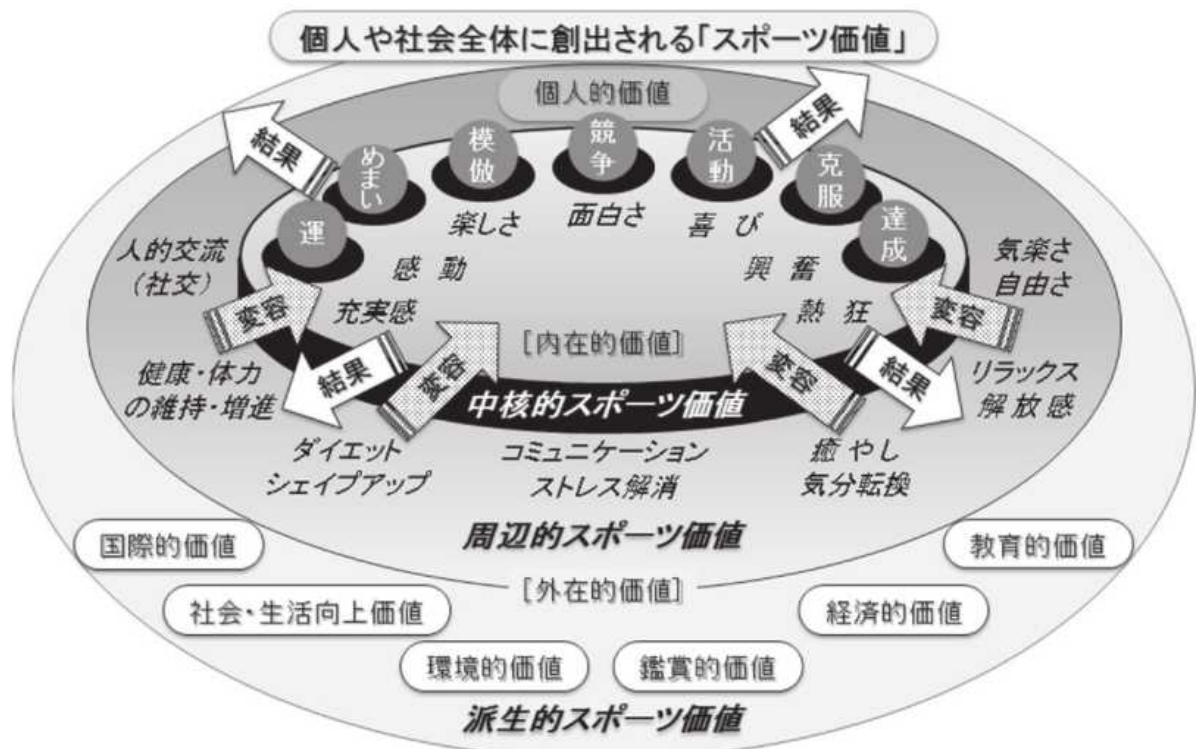


日本体育協会スポーツ医・科学研究報告 「新たなスポーツ価値意識の多面的な評価指標の開発」

- 平成 26 年度から平成 28 年度の 3 年間にわたる研究プロジェクト
- 本研究は、スポーツ基本法、スポーツ基本計画等に唱道されている新たなスポーツの理念、価値や目的といった 21 世紀の新たなスポーツの価値論に基づき、実証的なレベルでの研究ツールとなる「スポーツ価値意識評価尺度」を開発し、日本人のスポーツ価値意識に影響を与える要因を探るとともに、国際比較研究を行うことを目的としている。
- 本研究報告の第 2 報「第 3 章『スポーツ価値』のダイナミクスとスポーツ政策の課題」において以下のことが述べられている。
 - ①スポーツ政策経営におけるスポーツ価値は、「個人的価値」「教育的価値」「社会・生活向上価値」「経済的価値」「国際的価値」「鑑賞的価値」「環境的価値」の 7つの価値体系（構造） から成り立っている。
 - ②人間がスポーツ（文化）との多様なかかわり方（「する・行う」「みる」「創る・ささえる」）を通して得られるスポーツ固有の楽しさや喜びこそが「中核的スポーツ価値」であり、こうした価値享受が十分に尊重されるとき、「周辺のスポーツ価値」（手段的な個人価値）をはじめ、教育的価値、社会・生活向上価値、経済的価値、国際的価値、鑑賞的価値、環境的価値の「派生的スポーツ価値」が個人や社会全体にも創出されるという「スポーツ価値のダイナミクス（以下図）」の重要性を示唆している。



図スポーツ価値のダイナミクス（日本体育協会スポーツ医・科学研究報告Ⅲ
「新たなスポーツ価値意識の多面的な評価指標の開発－第 2 報－」 P53）